

NEWS

産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー [営業コース] 報告

(公社)全国産業廃棄物連合会主催の平成27年度産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー [営業コース]が12月2日(水)・3日(木)の2日間、愛知県産業労働センター：ウインクあいち(名古屋市中村区)において、午前9時45分より開催されました。

このセミナーは、産業廃棄物処理に係る自社の廃棄物処理の流れを、法的な裏付けとともに説明でき、顧客の事業内容や業務構造を理解した上で、的確な提案を行う能力を養成する事が目的です。

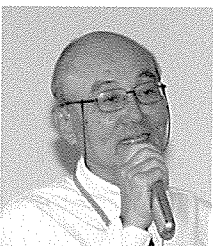
当協会員を含め22名の方が参加して、2日間にわたりしっかり学びました。

セミナーはA・B・C・D・Eの5グループに分かれ、講義形式とワークショップ形式(参加者の相互作用によって学び、創造する手法)の構成で行われました。



講師の(公社)全産連
大平氏

講師は(公社)全国産業廃棄物連合会から大平将之氏、竹野裕氏の2名が当たり、与えられた課題に対して受講者らが議論し、意見をまとめて発表し提案します。講師からは適切なアドバイスがあり、ワークショップならではの実践的なセミナーでした。



講師の(公社)全産連
竹野氏

講義では業界を取巻く最新動向や営業社員の基礎的役割やマーケティングの基本、プレゼンテーションの手法など専門的知識を含め、現場で生きる様々な取組を勉強しました。

ワークショップでは、自社のプロフィール紹介や、顧客情報管理シートの作成などのケーススタディ、グループワークを通して顧客を納得させる営業マンとしてのプロセスと着眼点を研究し、能力アップのスキルを磨きました。他社との意見交換が図れたことも効果的なグループワークでした。



午後からは(一社)愛知県産業廃棄物協会の理事で尾張北支部長の中野兼司氏/(株)東伸サービス代表取締役社長から“産業廃棄物処理事業の経営戦略と社員への期待”をテーマに講演がありました。



講師の(株)東伸サービス
中野代表取締役社長

中野社長は自ら二代目として、この業界に入った時の負のイメージについて触れ、次世代を担う産廃処理業者として描いたビジョンが、“ゴミ屋からの脱却”でした。そのためには社会的評価の向上と、循環型社会構築の一端を担う、社会に必要な欠くべからざる存在になるということです。

また入社後、各自の能力に沿った社員教育の実施、産廃業界の社会的活動や取組についての広報活動、情報発信をしていくことが重要であるとのことでした。このように従業員が丸となり力を発揮してこそ、目的の達成となりえます。東伸サービスでは、人材から人財へ、をスローガン(5か条)に日々人材育成に力を注いでいると語り、受講者の共感を呼ぶ講演となりました。

1. 魅力的な業界のイメージ戦略(入社後の人材育成のスキル)
2. 魅力的な会社のイメージ戦略
3. 同業者との協力体制の確立やネットワークの強化
4. プロ意識の向上を目指し、処理・リサイクルが困難であるがゆえに我々が必要という認識を持つ
5. 産業廃棄物処理業者としての誇りとプライドを持ち続ける